

# 麻生情報ビジネス専門学校

## 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力を学生が身につけることができるよう、カリキュラムマップを定め、体系的に教育課程を編成します。

### 【教養教育】

感謝と思いやりの心を持って社会で貢献できるように自ら環境と今後について考える。また、国語や数学の基本的な学力とビジネスで必要となるコミュニケーション手法やアプリケーションの使用方法を学ぶ。

### 【専門教育】

#### （情報工学科）

ITエンジニアとして必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」と「演習」によって技術を定着させ、「実習」によって実践的な能力を伸ばす。また、社会で必要とされるITシステムの企画、設計構築、運用を高度に行うために必要な科目によって構成する。

#### （情報システム専攻科）

ITエンジニアとして必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」と「演習」によって技術を定着させ、「実習」によって実践的な能力を伸ばす。また、社会で必要とされるITシステムの設計構築、運用を行うために必要な科目によって構成する。

#### （情報システム科）

ITエンジニアとして必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」と「演習」によって技術を定着させ、「実習」によって実践的な能力を伸ばす。また、社会で必要とされるITシステムの構築、運用を行うために必要な科目によって構成する。

#### （国際ITエンジニア科）

ITエンジニアとして必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」と「演習」によって技術を定着させ、「実習」によって実践的な能力を伸ばす。また、社会で必要とされるITシステムの知識と使用方法を学ぶために必要な科目によって構成する。

#### （経理科）

ビジネスパーソンとして必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」「実技・技能」「演習」の3本柱とし、これらをバランスよく学んでいく。総合職として活躍でき

る力を身に付けるため、簿記・会計・税法の専門的かつ実践的な学習をし、会計や会計情報のパソコン処理を総合的に学ぶための科目によって構成する。

#### **(情報ビジネス科)**

ビジネスパーソンとして必要な専門性を身に付けるため、カリキュラムは「理論」「実技・技能」「演習」の3本柱とし、これらをバランスよく学んでいく。総合職として活躍できる力を身に付けるため、ビジネスソフトを総合的に使いこなし、事務処理効率化の提案や、効果的プレゼンテーションを総合的に学ぶための科目によって構成する。

#### **(ビジネスエキスパート科)**

ビジネスパーソンとして必要な専門性を身に付けるため、カリキュラムは「理論」「実技・技能」「演習」の3本柱とし、これらをバランスよく学んでいく。総合職として活躍できる力を身に付けるため、ソフトウェアを全般的に使いこなし、指導・教育担当者として必要なプレゼンテーション、インストラクション、コミュニケーション能力を総合的に学ぶための科目によって構成する。

#### **(経営ビジネス科)**

ビジネスパーソンとして必要な専門性を身に付けるため、カリキュラムは「理論」「実技・技能」「演習」の3本柱とし、これらをバランスよく学んでいく。総合職として活躍できる力を身に付けるため、販売・営業・経営に関する知識を総合的に修得するとともに、現場での実習を通し実践力を養い、柔軟な発想を総合的に学ぶための科目によって構成する。

#### **(国際ビジネス科)**

ビジネスパーソンとして必要な専門性を身に付けるため、カリキュラムは「理論」「実技・技能」「演習」の3本柱とし、これらをバランスよく学んでいく。総合職として活躍できる力を身に付けるため、日本語のみならず、日本のビジネス慣習、ビジネスマナー、パソコンスキル、そしてビジネスに関する基礎知識を総合的に学ぶための科目によって構成する。

#### **(日本語科)**

言語知識（文字・語彙・文法）を段階的に習得できる科目を設置する。

言語知識を実際のコミュニケーションで使えるようになることを目的とした読解、聴解・会話などの科目を設置する。

日本の文化や慣習、日本人の価値観などを学ぶ科目を設置する。

### **【キャリア教育】**

キャリアデザインの各科目や学科行事においてキャリア教育を実施する。就職についての意識を醸成すると同時に、実際の活動に必要な知識を学ぶ。また、早期退職防止のために社会人としてのマナーや企業文化も学ぶ。

### **【評価方法】**

学修評価は、各授業科目の学習内容、到達目標、成績評価の方法・基準をシラバスにより学生に周知し、それに則して成績評価を行う。

卒業時にはディプロマ・ポリシーの各項目の修得と達成度合いに基づき総合的に評価し、定められた卒業要件に基づき卒業判定を行う。